

暗所・視野障がい者向け屋外対応型自立支援めがねの市場性・ニーズ調査

事業概要（フェーズ 1）

内容・背景

暗い所で見えない夜盲症や、緑内障等で視野が欠け見え辛くなる障害支援する眼鏡の先行開発を行う。フェーズ1では市場規模の分析、患者等へのアンケートや試作機を用いた臨床実験からニーズ検証を行い、性能、使い易さ、購入意向等の市場性評価を行う。



製品イメージ



暗所視障害のイメージ（左障害）



視野障害のイメージ

狙い、波及効果

生活様式の変化や高齢化による眼病、さらに視覚に障がいを持つ方の、見え方を改善したい。特に、未だ決め手となる支援機器が存在しない「夜盲症」や「視野疾患」に取り組み、対象者の自立支援（就労・就学）を目指す。支援する対象者は国内だけでなく世界中の方を対象に事業化を目指す。2015年より代表石塚が勤務先のHOYA(株)にて九州大学病院と前例のない暗所視支援眼鏡の研究開発・学会発表を行った経験がある。さらに今回の支援機器は、夜盲症だけでなく併発する視野障害も取り組み、これら2つの症状に対応する支援機器の必要性を痛感し世界に類例のない製品「暗所視・視野支援眼鏡」の開発に着手。暗所（夜間）移動の自由や近用作業（読書等）の実現を通し、患者の将来の可能性を拡げることができる。

事業化

2026年度までに製品化の目途をつけ、2027年度に販売開始の計画。国内のみならず米国を主に欧州・アジアでの販売に注力。2030年度には売上高15億円を目指す。

BOVLIFE株式会社

本社所在地	東京都千代田区神田駿河台二丁目11番7号205室
設立／資本金	2023年12月／1,000万円
従業員数	0名（2024年8月末現在）
事業内容	視覚障がい者向け福祉機器の製品開発・販売

その他機関

主な協力機関

- ・国立 宮崎大学医学部眼科
（臨床実験、学会発表、論文等医学知見の共有等で協力）
- ・公益社団法人 日本網膜色素変性症協会(JRPS)
（実証実験、患者アンケート等で協力）
- ・社会福祉法人 日本ライトハウス
（福祉機器調査等で協力）